

## 特別企画：四国地区 ソフトウェア業主要 20 社 業績動向調査（2018 年度）

# 2018 年度の業績 収入高合計は 2 年ぶりの増加 ～利益額合計は過去 5 年で最高～

### はじめに

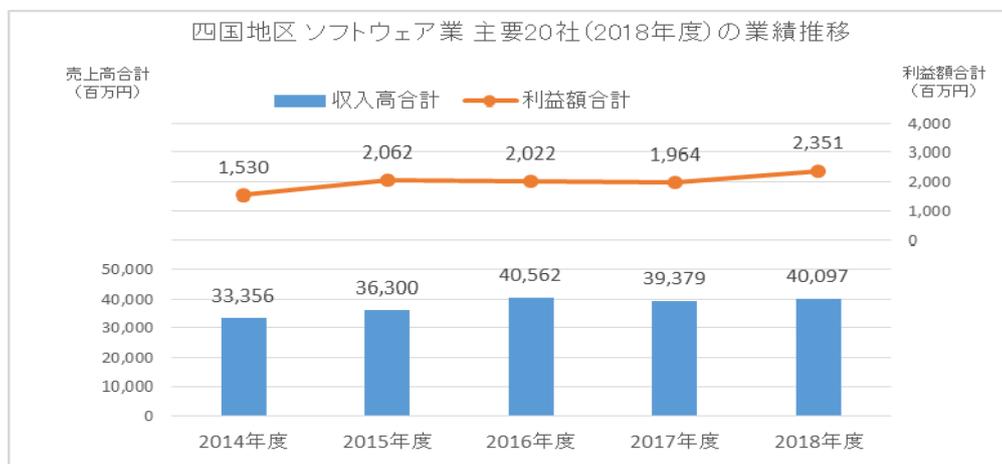
デジタル機器の普及や情報通信技術の発達により、企業が情報を処理する手段・方法が多様化し、取り扱う情報量・運用コストはともに増加した。ソフトウェア業界では、従来の受託開発中心のサービスから業務のアウトソーシング受託など総合的なサービスの提供へ移行している。

今回、帝国データバンク高松支店は、ソフトウェア業の業績動向を探るため、2019 年 10 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）の中から、2014 年度（2014 年 4 月期～2015 年 3 月期）から 2018 年度（2018 年 4 月期～2019 年 3 月期）まで 5 年間の決算の年収入高と利益額が比較可能な、四国地区に本社が所在するソフトウェア業主要 20 社を抽出し、年収入高別、利益額（当期純利益）別、収入高ランキングについて分析した。

※分析対象は TDB 産業分類・中分類で「受託開発ソフトウェア業」または「パッケージソフトウェア業」を主業とする企業

### 調査結果（要旨）

1. 2018 年度の年収入高合計は 400 億 9700 万円  
前年度と比べて 7 億 1800 万円（1.8%）多く、2 年ぶりの増加
2. 2018 年度の利益額合計は 23 億 5100 万円  
前年度と比べて 3 億 8700 万円（19.7%）多く、過去 5 年で最高



## 1. 年収入高推移、2 年ぶりの増加

四国地区に本社が所在するソフトウェア業主要 20 社について、2014 年度～2018 年度決算の年収入高合計をみると、2018 年度は 40 億 9700 万円となり、前年度と比べて 7 億 1800 万円 (1.8%) 多く、2 年ぶりに増加した。

主要 20 社の増減収の内訳をみると、増収の社数は前年度から 4 社多い 13 社となり、減収は 7 社に減少した。2018 年度の収入高の伸び率トップは、販売管理・支援システムなどを手掛けるスタンシステム (株) (徳島県、44.4%増) で、次いで施工品質管理システムや学内統合情報システムなどを手掛ける (株) 穴吹カレッジサービス (香川県、22.9%増)、地方自治体向け業務システムなどを手掛ける (株) 四国電子計算センター (香川県、19.3%増) が続いた。

年度	収入高合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減収の社数(前年度比)	
			増収	減収
2014年度	33,356	3.4	12	8
2015年度	36,300	8.8	15	5
2016年度	40,562	11.7	16	4
2017年度	39,379	▲ 2.9	9	11
2018年度	40,097	1.8	13	7

## 2. 利益額推移、過去 5 年で最高

2014 年度～2018 年度決算の利益額合計 (当期純利益) をみると、2018 年度は 23 億 5100 万円となり、前年度と比べて 3 億 8700 万円 (19.7%) 多く、過去 5 年で最高となった。

主要 20 社の増減益の内訳をみると、増益の社数は前年度より 5 社多い 15 社となり、減益は 5 社に減少した。人件費や外注費の増加などから減益となった企業があった一方、増収効果や利益率の良い自社開発ソフトの受注増などで増益となった企業が増加した。

年度	利益額合計 (百万円)	前年度比 (%)	増減益の社数(前年度比)	
			増益	減益
2014年度	1,530	41.7	10	10
2015年度	2,062	34.8	14	6
2016年度	2,022	▲ 2.0	15	5
2017年度	1,964	▲ 2.9	10	10
2018年度	2,351	19.7	15	5

### 3.まとめ

今回の調査で、四国地区に本社があるソフトウェア業主要 20 社における 2018 年度の収入高合計は、2 年ぶりに増加したことが判明した。制度変更への対応や I T を活用した誘客、多言語対応といったソフトウェア投資が企業によって行われたことが全体の収入高を押し上げている。2019 年度についても、改元や消費税率引き上げに伴う企業・行政機関のシステム改変需要とともに、業務効率化に向けた I T 投資、金融業界におけるフィンテック需要の高まりなどが追い風となり、市場の拡大が見込まれている。

今後は、働き方改革の推進を背景に、在宅勤務やサテライトオフィス勤務などのテレワークが注目されており、それを実現するソフトウェアの販売やシステム構築が必要となっている。また、R P A (ソフトウェアロボットなどによる事務自動化) をはじめとした I T による業務効率化需要も本格化するものとみられることから、今後の動向に期待をもって注目したい。

#### <参考>

四国地区 ソフトウェア業 主要20社 2018年度収入高ランキング

(単位:百万円)

順位	商号	所在地	年収入高 (2018年度)	前年度比 増減
1	株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ四国	愛媛県	5,808	↓
2	株式会社 高知電子計算センター	高知県	4,174	↑
3	株式会社 四国日立システムズ	香川県	3,543	↓
4	株式会社 ファインデックス	愛媛県	3,557	↑
5	四国情報管理センター 株式会社	高知県	2,612	↓
6	株式会社 ウイン	愛媛県	2,505	↓
7	株式会社 エヌピーシステム開発	愛媛県	2,150	↓
8	株式会社 穴吹カレッジサービス	香川県	1,942	↑
9	株式会社 トスバックシステムズ	香川県	1,798	↑
10	株式会社 ソフテック	高知県	1,721	↑
11	コンピューターシステム 株式会社	愛媛県	1,447	↓
12	富士通エフサス四国カスタマーサービス 株式会社	香川県	1,250	↓
13	四国システム開発 株式会社	徳島県	1,216	↑
14	オークラ情報システム 株式会社	香川県	1,188	↑
15	株式会社 高知システムズ	高知県	999	↑
16	株式会社 アール・シー・エス	香川県	996	↑
17	四国行政システム 株式会社	香川県	908	↑
18	スタンシステム 株式会社	徳島県	794	↑
19	株式会社 リーガル	愛媛県	752	↑
20	株式会社 四国電子計算センター	香川県	737	↑

**【 内容に関する問い合わせ先 】**

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：須賀原 欣彦、青木 真人

TEL：087-851-1571 FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。